欄(	こ記	λl.	.T	くださ	い

## 温室効果ガス削減実施状況報告書

1	事	業	ഗ	概	要

(1) 事業所の名称

藤本食品株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市沼田東町両名972番地1

(3)業種

0997 すし・弁当・調理パン製造業

## 2 計画の期間

本計画の期間は、平成26(2014)年度を基準年度とし、令和4(2022)年度から令和8年(2026)年度までの5年間とする。

## 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位:排出量(t-CO<sub>2</sub>),削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段:見込量 (b) 下段:削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:実排出量(d),下段:削減量の対基準年度比(e))				
♥ ブ/1 <u>里 米</u> 貝	平成26年度 (2014)	令和8年度 (2026)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
エネルギー	5, 763	4, 035	4, 284				
起源CO <sub>2</sub>	5, 705	30.0	25. 7	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー							
起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン							
<i>y. y. y</i>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素							
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他							
温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス	5, 763	4, 035	4, 284				
実排出量総計	0, 100	30. 0	25. 7	100.0	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス							
みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a)×100 削減量の対基準年度比(e)=((a)-(d))/(a)×100

《原単位を削減目標とする場合》 原単位算定に用いた指標:

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位(a)	目標年度 上段:原単位 (b) 下段:削減率 (c)	計画期間の実績 (上段:原単位実績(d),下段:削減量の対基準年度比(e))				
9/種類	平成 年度	令和 年度 ( )	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位(原油換算 kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a)×100 削減量の対基準年度比(e)=((a)-(d))/(a)×100

## 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

_	○ 価重効果カヘの排団抑制に同けた取組					
	項目	削減量等	具体的な取組			
1	電気使用量の削減	原油換算0.677 k 1/年間	チラー冷凍機の更新			
2	電気使用量の削減		稼働時間の分散による負荷低減、電源ON・ OFF管理			
3						
4						

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組(環境価値の活用等)

(	$\mathcal{L}$	) 温室効果ガスみなし排出重の抑制に関する取組(塚境)	価値の活用等/
		種類	合計量
-	1		
4	2		
4	3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組		
1					
2					
3					

<sup>※</sup> 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。